

3月 東海ブロックいっせい宣伝 111カ所、178支部、393人、56人の議員・候補者 もとむら、すやま、三尾氏ら

東海地方の日本共産党は17日、参院選勝利をめざす東海ブロックいっせい宣伝に取り組みました（市議選中の静岡市を除く）。もとむら伸子衆院議員、すやま初美（愛知）、三尾圭司（岐阜）の参院両選挙区候補や地方議員を先頭に訴えました。



伊豆：風が強いなか、若い3



桑名

人連れがあいさつをしてくれ、若者が話を聞いてくれた。

（函南・伊豆仁田駅）。

西部：「しんぶん赤旗」日曜版の見本紙の受け取りがよく、特に若い人が多かった。高校生も10数名が受け取った。

「石破首相はどうしようもない」の声があった。

【愛知】

東部：石破首相の商品券問題の訴えに振り返る人が多数。

南西：神宮西駅で自転車かごに入れていた「しんぶん赤旗」見本紙を見つけた男性が「自分にもください」と声をかけてきた。

北西：北区・平安通駅でも若



志摩

原発、企業・団体献金、商品券配布、裏金など追及

日本共産党の井上哲士議員は19日の参院予算委員会で、企業への要求に沿って原発政策に固執する政府の姿勢を厳しく追及しました。

石破茂内閣は第7次エネルギー基本計画で原発の「可能な限り依存度を低減する」を削り、「最大限活用」を盛り込みました。

井上氏は「地震列島日本では安全な原発立地場所はない」と断じ、能登半島地震で原発事故と地震などの複合災害のときには、避難計画が破綻していることが明らかになったと述べました。



一方、経団連が政党の政策評価という「政党通信簿」と企業献金のあっせん再開で

自民全体に根深い金権体質 安倍政権時も商品券配布 都議会自民裏金「調査を」
また、井上氏は石破首相の商品券配布問題で、「しんぶん赤旗」日曜版（23日号）で報道された安倍政権時代にも「慣習」として行われてい

た、受け取った議員が原資は官房機密費だと思っていたとの証言を示し、「このような慣例が自民党内で引き継がれているのか」と追及。石破首相は「答える立場にない」と回答を拒否しました。

井上氏は、都議会自民党で行われていた裏金作りも追及。その中には国会議員も含まれるとして、「総裁として調査を指示するべきだ」と迫りましたが石破首相は「そのような事実はない」と開き直りました。

3・23静岡市議選
ハコモノより
給食費ゼロ!
静岡市議選は23日投票です。
石破首相の商品券問題が発覚、物価高騰に苦しむ市民の怒りが沸騰。
日本共産党は、杉本まもる（葵区）、鈴木あけみ（葵区）、寺尾あきら（駿河区）、内田りゅうすけ（清水区）各候補の全員当選へ全力です。